

# 新年の



美郷町長  
松田知己

新年おめでとうございます。みなさまには、全般的に動きのあった昨年を振り返りながら、「今年はこのように年になってほしい」という願いを持って、新年をお迎えのことと存じます。

さて、その昨年、本当にいろいろなことがあった一年でした。社会活動面においては、新型コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザと同様の扱いとなった5月以降、全般的に活動が活発化し、息のしやすい方向に動いた一方、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化やパレスチナとイスラエルの紛争勃発、為替の変動などによる物価の高騰など、見える安心と見えない不安が同居する複雑さがありました。また、気象面では、夏の猛暑の連続や秋の高温の連続などにより農作物に影響があったほか、ツキノワグマが異常に出没するなど、過去に経験のない事象も目の当たりにしました。生活者としては少しでも安寧を求めたいわけ

ですが、残念ながら実感は総じて不安定化に向かっているように感じてしまいう年でした。

こうした中で、行政機関に属する私どもが果たす役割は、できるだけみなさまの不安定感を減少させ、町内での生活に少しでも満足感が増えるよう、町の未来を見つめながら各般の課題に着実に対処していくこと、それに尽きると私は考えております。そのため、令和6年におきましても、こうした認識を前提に各般の施策を企画立案し、円滑に展開していくよう努めてまいりたいと思っております。引き続き、私はじめ町職員が一体となって努力を積み重ねてまいりますので、みなさまには、今年も町の各般の取り組みにご理解とご協力をいただけますよう、心よりお願いを申し上げます。

ところで、賃貸住宅大手企業が毎年実施している「街の幸福度ランキング」の結果が昨年11月に発表され、美郷町は3年連続で県内第1位となり

ました。自治体が何のために存在し、何を求めて各般の施策を展開するのか、日頃より考え、意識して汗を流している立場からすると、これ以上嬉しい結果はありません。書家であり詩人の相田みつをさんに「しあわせはいつもじぶんのころがきめる」という作品がありますが、真理と思えます。この度の結果は一つの指標でしかありませんが、今後も継続できるよう、引き続き「こころ」を大切にす認識で、がんばってまいります。

令和6年が、多くのワクワクと確かな明るさに満ちた一年になりますよう心より念じ、新年のあいさついたします。



# ごあいさし



美郷町議会議長

森 元 淑 雄

新年おめでとうございます。

令和5年は、自然災害や重大な鳥獣被害といった思いもよらない災難続きの年でありましたが、皆様方におかれましては、今年こそは「最良の年となりますように」との思いで新年をお迎えのことと思います。

昨年を振り返ってみますと、7月の記録的な大雨に加えて8月にはこれまでに類を見ない猛暑に見舞われるなど、県内の農家にとっては死活問題にさえ発展しそうな出来事が多くありました。町内でも、手塩にかけて育てた稲穂が、二等米や三等米という予想だにできなかった結果が突きつけられたばかりでなく、今後も地球温暖化の影響による異常気象が懸念され、農家の努力だけではどうにもならないような事態が起きてしまいました。それだけに、国には生産現場が希望を抱けるような施策を講じつつ、「食料農業農村基本法」の早期見直しを図ってもらいたいところです。

また、県が2025年に全面実施を考えている、土壌中の有害物質であるカドミウムをほとんど吸収しない

とされている「あきたこまちR」への作付け転換については、消費者はもとより生産者にも殆ど情報がないまま進められようとしており、是非とも県民に対する丁寧な説明と対応を行ってほしいと思っております。

さて、冒頭でも述べたとおり、鳥獣被害の最たるものが「熊による災害」でありましょう。これまでは出現することのなかった住宅地や市街地など、生活圏の中心部でも目撃されるようになり、熊による人身被害も多発しました。幸い美郷町では人身被害の報告がなかったため、ほっとしているところではあります。熊の被害を未然に防ぐためには、①集落の一点検によつて果実などを誘引する食物の未収穫をなくすことと、不要な木の伐採への助言、②小屋や車庫などの扉を常時閉めておくことへの啓発、③農作物や米糠などの放置の絶無など、様々な対策を講じることが肝要と考えております。できることならば、「熊よけの予防接種」ができれば、なお言うことがないと思っております。

これまで述べたとおり、何かと暗いことが多かった中でも、少し光明が差した話題といえ、日本人の目覚ましい活躍で、14年ぶりのWBC優勝をはじめ、そしてアレの活躍、48年ぶりに自力での五輪出場を決めた男子バスケットボールチーム、さらには、県出身選手である女子マラソンの鈴木優花選手の五輪出場などが挙げられます。本人たちの努力もさることながら、スポーツの持つ底力はこのスポーツであれば、人々を魅了してやまないのだということを再認識させられた出来事でもありました。

今年の干支は「辰」。空想の生き物とされている「龍」のことはありますが、水を司る神としても崇められてもいます。その龍神様の力をお借りしながら、昨年のような風水害から私たちの暮らしをお守りいただき、健やかな暮らしを営むことができよう願っています。